

みずほCustomer Desk Report 2020/04/21号 (As of 2020/04/20)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.90
TKY 9:00AM	107.70	1.0866	117.02	1.2480	0.6338
SYD-NY High	107.95	1.0896	117.29	1.2498	0.6398
SYD-NY Low	107.39	1.0841	116.91	1.2417	0.6333
NY 5:00 PM	107.62	1.0865	116.91	1.2431	0.6337
NY DOW	23,650.44	▲ 592.05	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	8,560.73	▲ 89.41	日本10年債	0.010	0.00bp
S&P	2,823.16	▲ 51.40	米国2年債	0.2037	0.38bp
日経平均	19,669.12	▲ 228.14	米国5年債	0.3492	▲0.80bp
TOPIX	1,432.41	▲ 10.13	米国10年債	0.6156	▲2.54bp
シカゴ日経先物	19,395.00	▲ 295.00	独10年債	-0.4520	2.35bp
ロンドンFT	5,812.83	25.87	英10年債	0.3335	3.30bp
DAX	10,675.90	50.12	豪10年債	0.8390	▲3.90bp
ハンセン指数	24,330.02	▲ 49.98	USDJPY 1M Vol	8.25	▲0.13%
上海総合	2,852.55	14.06	USDJPY 3M Vol	8.45	▲0.20%
NY金	1,711.20	12.40	USDJPY 6M Vol	8.57	▲0.09%
WTI	-13.10	▲ 31.37	USDJPY 1M 25RR	-2.40	Yen Call Over
CRB指数	118.76	▲ 5.03	EURJPY 3M Vol	9.75	▲0.09%
ドルインデックス	99.94	0.15	EURJPY 6M Vol	9.93	▲0.05%

東京	東京時間107.70レベルでスタートしたドル円は、仲値にかけてドル買いが多く持ち込まれ、107.90付近まで上昇。その後は日経平均株価や中国株を睨みながら、107.80前後での取引が続いた。中国の財政省が「新たに1兆元規模の特別債を近く発行する予定」と発表したものの、市場の反応は限定的だった。107.87レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.87レベルでオープン。本日は特段の材料もなく107.60-90円で小動きし107.80レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2449レベルでオープン。EUとのプレジデント交渉が再開される一方で原油急落によるドル需要もありポンドは方向感のない推移だった。1.2435-91のレンジで取引され1.2438レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	ドル円は107.80レベルでNYオープン。朝方は3月シカゴ連銀全米活動指数が予想を下回り約10年ぶりの低水準となったほか、クドロー米NEC委員長が「5月は米国の経済改善への転換期となるかもしれない」とインタビューで述べるも、ドル円の反応は鈍く、107.70近辺で小動き。また、期日を迎える5月限のWTI原油先物が1986年以来の安値を更新し、午後には初めてマイナス価格で取引されるも、為替相場の値動きは限定的だった。終盤まで動意薄の展開が続き、結局、107.62レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でもみ合い。一時1.0841まで下落する場面もあったが、その後、ユーロドルの上昇につれ高となり、1.0896まで反発し、1.0857レベルでNYオープン。特段の手掛かり材料が見当たらない中、朝方はユーロ買い優勢で1.0887まで上昇。午後はWTI原油先物がマイナス価格で取引されたとのヘッドラインへの反応は限定的だったものの、その後、米株が下げ幅を拡大する動きとともに下落するユーロ円に圧迫され、午前中の上げを全て吐き出す。23日開催予定のEU首脳会議を控え、様子見ムードが強まったとの見方もある中、方向感に欠ける展開が続き、結局、1.0865レベルでクロス。

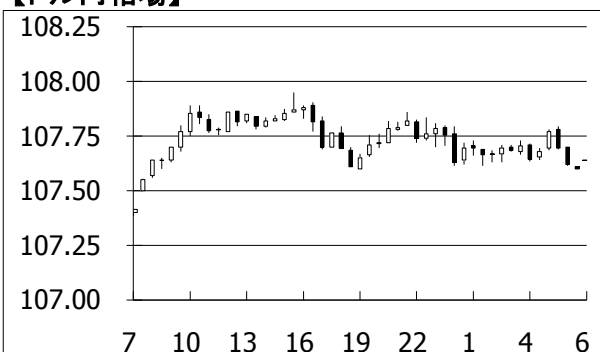
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月20日	8:50	日	貿易収支	3月 ¥4.9b
	15:00	独	PPI(前月比/前年比)	3月 -0.8%/-0.8%
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	3月 -4.19

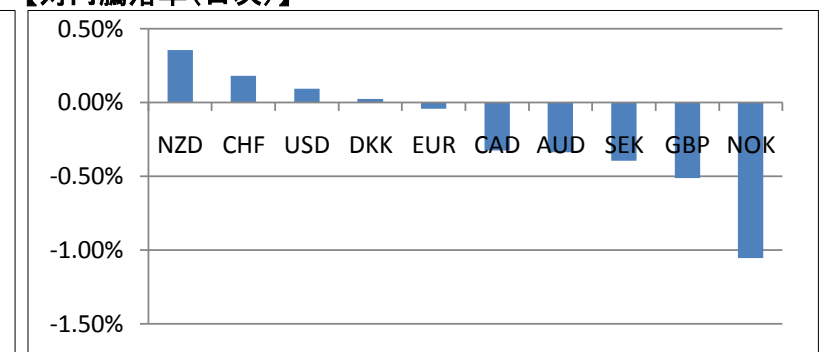
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月21日	15:00	英	ILO失業率(3ヶ月)	2月 3.9%
	18:00	独	ZEW調査(現状/期待)	4月 -77.5/-42.0
	18:00	欧	ZEW調査(期待)	4月 -
	23:00	米	中古住宅販売件数	3月 5.25m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】ドル円上昇のトリガーはなにか

足許、主要国の新型コロナウイルスの感染拡大ペースは収束に向かいつつあるように見える。ロックダウン等の何らかの対応を行ってから概ね15から20日ほど経つと、感染者の増加率はピークを迎えることがわかってきた。武漢での感染をはじめ、イタリアでのパンデミックから得られた経験則だ。このことから、NY州での感染拡大も、もうそろそろピークを迎えるだろう。それに先立つこと1ヶ月前より、米国株式は早々と反発をはじめ、新型コロナウイルスによる相場のリスクオフから、概ね半値戻しとなっている。かかる状況下、今後は新型コロナウイルス収束後の世界も考えておく必要があるだろう。経済活動が正常化に向かうプロセスの中、各国の底力が試されている。ヒト及びモノの動きが止まった現在、各国は国債の発行による財政政策によって、この難局を乗りきろうとしている。再び正常化した世の中に戻るときには、底力のある国の景気回復と、そうでない国の景気低迷の明暗が分かれそうだ。日本においては、今後欧米のような感染者の拡大が起きるかわからない重要な局面となっていることは確実だが、ヒト及びモノの動きが止まっていることは確実。経済的ダメージは避けられないだろう。ドル円はそれを示すかのようにじりじりと下落しており、今後もマインドが変わらない限りにおいては、ドル円じり安となると予想される。ドル円上昇のトリガーは、日本の底力にかかっているといえよう。(原田)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 原田・大庭 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14